

地域リハOT 便り vol.23

令和 8 年

3 月

地域リハビリテーション部では、年に数回地域リハ OT 便りを作成しています。今回は、昨年12月に行った、地域支援事業への参画促進に関するアンケートの集計を行いましたので、会員の皆様へご報告をお伝えいたします。

【アンケート結果】

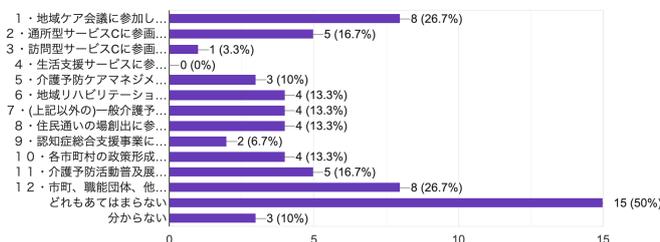
地域包括ケア班 成川峰子

日本作業療法士協会が各県士会の進捗状況を把握するために行われており、三重県士会でも各施設代表者さんに回答していただきました。同時に地域リハ部に対しての意見もいただきました。今回は12の市町、30施設の代表者の方からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

《地域活動への参画状況》

「地域ケア会議」への参加および「講演活動」への参画がそれぞれ8件と最も多くみられました。そのほか、訪問型サービスCや認知症総合支援事業など、個別支援型の事業に参画している方も一定数いることが分かりました。一方で、地域支援事業に深く関わっている方がいる反面、市町村との関りが無い方も多くいる現状が明らかになりました。

OTの参画状況を教えてください 複数回答可
30件の回答



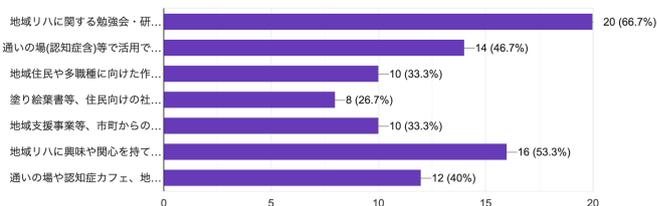
作業療法士と市町村との関係度合いを教えてください
30件の回答



《地域リハビリテーション部に期待すること》

「勉強会・研修会の充実(20件)」や「地域リハに興味・関心を持てる機会の提供(16件)」、「体験・見学の場(12件)」など、学びや参加のきっかけづくりを求める声が多く寄せられました。また、通いの場や多職種向け等で活用できる資料作成や相談に対する要望も高い結果となりました。

地域リハビリテーション部に期待することを教えてください ※複数回答可
30件の回答



今回のアンケート結果を受けて、今後の研修会企画や見学施設の拡大など、地域活動へ参加しやすい環境づくりを進めるとともに、市町村や関係機関との連携強化を図っていきたいと考えています。今後も会員の皆様と共に、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいければと考えています。